



JAPAN MARKET DEVELOPMENT CO.,LTD.

5-34 Sakuramachi, Kariya, Aichi 448 Japan Phone:0566-21-5951

Our Ref: JMD-AL-950511

(/ page in all)

Date : 11 May, 1995

Our fax No: 81-52-732-0616

Attn : Mr. Geoff Binks
Technical Coordinator
Belzona Metalife Limited

F M : A. Kimata (Connie), JMD

c.c. : Dr. P.K. Battey <via Geoff>
Mr. Mike Anderson <via Geoff>
K. Ota, K. Omae and Yasu, JMD <Internal>

RE : Approval for Food Contact

Dear Geoff,

With reference to your fax of May 2, let us submit you the above approvals.

These have been specified in Japanese standard during the last decade by JMS (Japan Molecular Service, sister company of JMD). Sorry, but it's too complicated to explain you the detail test method and standard.

The essence is of the food contact approval for following Belzona Products:

Belzona 1000 : 1111, 1221, 1311, 1321, *1341, 1391, 1421, 1811

Belzona 2000 : 2211

Belzona 3000 : 4111

***Note: Belzona 1341 has been specified for drinking water. It meets more strict standard of JWWA (Japan Water Work Association).**

For your ref., the approval for Belzona 1391 is briefly translate just in terms of facts and figures. Hopefully, you could understand my awkward language.

Trust the information is of some help. Should you have any questions, please don't hesitate to contact us.

With best regards,

Connie
Connie

Enc.

Approval for Food Contact (Belzona 1391)

- ref. to the attached original letter in Japanese -

<Authorizer> Food Research Institute, Aichi Prefectural Government

<Date> Mar. 27, 1995

<Ref. #> 7食技第1-165号

<Client> Japan Molecular Service Co., (Attn: K. Ota, Technical Director)

<Test Criteria>

Specifications and standards for food, food additive, and etc. "3-D-2 (1)", based on the "Food Sanitation Law" set by Japanese Ministry of Health and Welfare.

<Sample Description> Belzona 1391 : 5 cm x 10 cm x 5 pieces

<Test Result>

Test Items	Result	Limits	Conditions for Leaching		
			Solvent	Temp.	Time
● Heavy Metal	less than Limits	1 ppm	4% Acetic acid	60°C	30 min.
● Consumption of Potassium Permanganate	4.0 ppm	10 ppm	Water	60°C	30 min.
● Evaporation Residuum	6.3 ppm	30 ppm	Water	60°C	30 min.
● Cadmium	less than limits	100 ppm	*Test for Substrate		
● Lead	less than limits	100 ppm	*Test for Substrate		

* Test for Substrate : Dissolve with acids after buring the specimen

成 績 書

依 頼 者	住 所	刈谷市桜町5-34		
	氏 名 <small>(名称および代表者氏名)</small>	ジャパンモレキュラーサービス 太田 勝久		
	依 頼 事 項	フェノール、ホルムアルデヒド、重金属、蒸発残留物、 過マンガン酸カリウム消費量		
	試 料	品 名	Be/2004 / / / / スーパーメタル	数 量 5 個
成 績 (結 果)		フェノール	検出せず	
		ホルムアルデヒド	検出せず	
		重金属	検出せず	
		蒸発残留物	1.3 ppm	
		過マンガン酸カリウム消費量	4.4 ppm	
		浸出条件		
		フェノール、ホルムアルデヒド、 過マンガン酸カリウム消費量		
		水、60℃、30分		
		重金属、蒸発残留物		
		4%酢酸、60℃、30分		
		(厚生省告示第20号試験に準拠して行なった。)		
<p>試料の成績（結果）は、上記のとおりです。</p> <p style="text-align: center;">平成 2 年 2 月 23 日</p> <p style="text-align: center;">愛知県食品工業技術センター 所長 徳 村 治 彦</p>				

成績書

2食技第 1-107号

依頼者	住所	刈谷市桜町5-34		
	氏名 (名称および代表者氏名)	ジャパンモレキュラーサービス 太田 勝久		
依頼事項		フェノール、ホルムアルデヒド、重金属、蒸発残留物、 過マンガン酸カリウム消費量		
試料	品名	1221 スーパーEメタル	数 量	5個
	成績 (結果)	フェノール 検出せず ホルムアルデヒド 検出せず 重金属 検出せず 蒸発残留物 3.7ppm 過マンガン酸カリウム消費量 2.3ppm 浸出条件 フェノール、ホルムアルデヒド、 過マンガン酸カリウム消費量 水、60℃、30分 重金属、蒸発残留物 4%酢酸、60℃、30分 (厚生省告示第20号試験に準拠して行なった。)		
試料の成績(結果)は、上記のとおりです。 平成 2 年 2 月 23 日 愛知県食品工業技術センター所長 徳村 治彦				

成績書

依頼者	住所	刈谷市 桜町5-34	
氏名	ジャパンモレキュラーサービス (株)		
(名称および代表者氏名)	大前 耕司		
依頼事項	フェノール, ホルムアルデヒド, 蒸発残留物 重金属, 過マンガン酸カリウム消費量		
試料名	バルゾナモレキュラーセラ ミック R メタル 1311	数 地	5 枚
成績 (結果)	フェノール	検出せず	
	ホルムアルデヒド	検出せず	
	蒸発残留物	11.5 ppm	
	重金属	検出せず	
	過マンガン酸カリウム消費量	1.2 ppm	
厚生省告示第434号規格試験			
試料の成績(結果)は、上記のとおりです。			
462.4.27 日			
愛知県食品工業試験所長 上藤口出男			

成績書

依頼者	住所	刈谷市桜町5-34	
氏名	ジャパンモレキュラーサービス(株)		
(名称および代表者氏名)	大前 耕司		
依頼事項	フェノール, ホルムアルデヒド, 蒸発残留物 重金属, 過マンガン酸カリウム消費量		
試料名	品名	数量	
	ベルソナモレキュラーセラ		
	ミック S メタル	5 枚	
	1321		
成績 (結果)	フェノール	検出せず	
	ホルムアルデヒド	検出せず	
	蒸発残留物	11.0 ppm	
	重金属	検出せず	
	過マンガン酸カリウム消費量	1.6 ppm	
厚生省告示第434号規格試験			
試料の成績(結果)は、上記のとおりです。			
2022.4.27 日			
愛知県食品工業試験所長 工藤日出男			

試験報告書

No. 744429

平成 元年 10月 28日

134/

依頼者	ジパロニレキユラーサービス株式会社 殿
試料	ペルゾナスーパーグライド

財団法人 化学品検査協会

名古屋試験所

平成 元年 10月 19日提出された試料の成績は次のとおりです。(室温22℃湿度 1%)

試験項目	試験結果
溶解試験	
濁度 (度)	0.5 以下
色度 (度)	1 以下
過マンガン酸カリウム消費量 (ppm)	1.7
残留塩素の減量 (ppm)	0.7
フェノール類 (ppm)	0.005 以下
アミン (ppm)	不検出
シアン (ppm)	不検出
臭気及び味	異常なし
— 以 上 —	
備考	
試験方法 : 日本水道協会 水道用タールエポキシ樹脂塗装方法 JWWA K 115-1974による。	
溶解試験規定	
濁度	0.5 度以下
色度	1 度以下
過マンガン酸カリウム消費量	2 ppm以下
残留塩素の減量	0.7 ppm以下
フェノール類	0.005 ppm以下
アミン	検出しないこと
シアン	検出しないこと
臭気及び味	異常でないこと
受付No. 742408	

〒465 名古屋市昭和区新戸町4-1 電話261-1185

「水質試験の標準化」を目的として、本協会に加盟する各試験所が、試験方法を統一し、試験結果の信頼性を確保することを旨として、本試験方法を制定した。

成績書 7 食技第 1 - 165 号				
依頼者	住所	愛知県刈谷市桜町 5-34		
	氏名 <small>(名称及び代表者氏名)</small>	ジャパンモレキュラーサービス 太田 勝久		
依頼事項	カドミウム、鉛、重金属、過マンガン酸カリウム消費量、蒸発残留物			
試料	品名	BELZONA1391	数量	5cm×10cm ×5枚
成績 (結果)	試験項目	結果	規格値	溶出条件
	重金属	規格値以下	1ppm	4%酢酸、60℃、30分
	過マンガン酸 カリウム消費量	4.0ppm	10ppm	水、60℃、30分
	蒸発残留物	6.3ppm	30ppm	水、60℃、30分
	カドミウム	規格値以下	100ppm	材質試験
	鉛	規格値以下	100ppm	材質試験
食品、添加物等の規格基準 第三、D、2、(1) 一般規格の試験方法に準拠して行った。				
以下余白				
試料の成績(結果)は、上記のとおりです。				
平成 7年 3月27 日				
愛知県食品工業技術センター所長 杉本勝之				

様式第 4

<div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center;"> 成 績 書 7 食技第 1 - 140 号 </div>				
依 頼 者	住 所	愛知県刈谷市桜町 5 - 34		
	氏 名 <small>(名称及び代表者氏名)</small>	ジャパンモレキュラーサービス 太 田 勝 久		
依 頼 事 項	カドミウム、鉛、重金属、過マンガン酸カリウム消費量、 蒸発残留物			
試 料	品 名	BELZONA 1421	数 量	5 cm × 10 cm × 5 枚
成 績 (結 果)	試験項目	結果	規格値	溶出条件
	重金属	規格値以下	1ppm	4%酢酸、60℃、30分
	過マンガン酸 カリウム消費量	3.6ppm	10ppm	水、60℃、30分
	蒸発残留物	0.0ppm	30ppm	水、60℃、30分
	カドミウム	規格値以下	100ppm	材質試験
	鉛	規格値以下	100ppm	材質試験
<p>食品、添加物等の規格基準 第三、D、2、(1) 一般規格の試験方法に準拠して行った。</p> <p style="text-align: center;">以下余白</p>				
<p>試料の成績(結果)は、上記のとおりです。</p> <p style="text-align: center;">平成 7年 3月 27 日</p> <p style="text-align: center;">愛知県食品工業技術センター所長 杉本勝之</p>				



様式第 4

成績書				
5 食技第 1 - 899 号				
依頼者	住所	刈谷市桜町 5-34		
	氏名 (名称及び代表者氏名)	ジャパンモレキュラーサービス (株) 太田 勝久		
依頼事項	フェノール、ホルムアルデヒド、重金属、過マンガン酸 カリウム消費量、蒸発残留物			
試料	品名	セラミックカーバイド 1811	数量	1 点 5 cm × 5 cm 5 個
	試験項目	結果	規格値	溶出条件
成績 (結果)	フェノール	検出せず	--	水、60℃、30分
	ホルムアルデヒド	検出せず	--	水、60℃、30分
	重金属	規格値以下	1ppm	4%酢酸、60℃、30分
	過マンガン酸 カリウム消費量	4.4ppm	10ppm	水、60℃、30分
	蒸発残留物	12.1ppm	30ppm	4%酢酸、60℃、30分
食品、添加物等の規格基準 第三、D、2の試験方法に準拠して行った。 以下余白				
試料の成績(結果)は、上記のとおりです。 平成 6 年 1 月 13 日 愛知県食品工業技術センター 所長 原田 昭 夫				

成 績 書

依 頼 者	住 所	刈谷市桜町5-34		
	氏 名 <small>(名称および代表者氏名)</small>	ジャパンモレキュラーサービス 太田 勝久		
依 頼 事 項	フェノール、ホルムアルデヒド、重金属、蒸発残留物、 過マンガン酸カリウム消費量			
試 料	品 名	2211 MPエラストマー	数 量	5個
	成 績 (結 果)	フェノール 検出せず ホルムアルデヒド 検出せず 重金属 検出せず 蒸発残留物 15.5ppm 過マンガン酸カリウム消費量 6.0ppm 浸出条件 フェノール、ホルムアルデヒド、 過マンガン酸カリウム消費量 水、60℃、30分 重金属、蒸発残留物 4%酢酸、60℃、30分 (厚生省告示第20号試験に準拠して行なった。)		
試料の成績(結果)は、上記のとおりです。 平成 2 年 2 月 23 日 愛知県食品工業技術センター所長 徳 村 治 彦				

成 績 書

3食第1-585号

依頼者	住所	愛知県刈谷市桜町5-34		
	氏名 <small>(名称および代表者氏名)</small>	ジャパンモレキュラーサービス㈱ 太田 勝久		

依頼事項	フェノール、ホルムアルデヒド、重金属、蒸発残留物、 過マンガン酸カリウム消費量			
------	--	--	--	--

試料	品名	4111 ベルゾナマグマクオーツ	数量	5
----	----	---------------------	----	---

成績 (結果)	フェノール	検出せず		
	ホルムアルデヒド	検出せず		
	重金属	検出せず		
	蒸発残留物	4.7ppm	(30 ≧)	
	過マンガン酸カリウム消費量	6.3ppm	(10 ≧)	
	浸出条件			
	フェノール、ホルムアルデヒド、 過マンガン酸カリウム消費量			
	水、60℃、30分			
	重金属、蒸発残留物			
	4%酢酸、60℃、30分			

(厚生省告示第20号試験に準拠して行なった。)

試料の成績(結果)は、上記のとおりです。

平成 3 年 5 月 20 日

愛知県食品工業技術センター所長 徳村 治彦